

[様式1] 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	3812
部 名	消防本部	課 名	警防課	課長名	鈴木 久道
事務事業名	消防団活動事業				
予算上の事務事業名	消防団活動費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23130	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施策名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消防組織法、消防力の基準等				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）</p> <p>消防団の使用する装備資機材の維持管理を適切に行なう。</p> <p>(2) 対象（誰、何）</p> <p>市民</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>装備機材の操作性の向上等による災害に対する迅速化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小型動力ポンプ3台の更新（配置場所：1分団4部（石橋）、2分団1部（相原）、6分団4部（勝坂））</li> <li>・その他資機材（消防ホース等）の整備</li> </ul>				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	4,941	6,969	4,875	8,655	8,655
一般財源	2,357	6,969	4,075	6,955	6,955
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	2,584	0	800	1,700	1,700
人件費の合計	8,010	8,070	8,050	8,050	8,050
事業コスト合計	12,951	15,039	12,925	16,705	16,705
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	消防団活動事業			対象名称と単位	消防団の部数(部)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	6,543	8,583	12,925	10,265	10,265
対象数	56	56	56	90	90
単位あたり経費(円)	116,839	153,268	230,804	114,056	114,056
前年度比		1.31	1.51	0.49	1.00

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	指標式と指標の説明		消防団88部に対する資機材等の整備		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	56.0	56.0	56.0		
目標	56.0	56.0	56.0	84.0	84.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	指標式と指標の説明		不燃焼火災/火災発生件数×100 火災を延焼させない割合		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	233.0	218.0	208.0		
目標	253.0	234.0	211.0	211.0	211.0
目標達成度(%)	92.1	93.2	98.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]: 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]: 概ね良好な状況である事業				
	[★★★]: 見直しを行う必要がある事業				
	[★★]: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		津久井町、相模湖町との合併に伴い、災害時、より一層の地元消防団の活動が、必要不可欠となることから、今後も積極的に進めていく事業である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
限られた予算の中で、より効率的に消防団活動に対して、後方支援を図る。			津久井町、相模湖町との合併に伴い、非常備消防として位置づけられている消防団が、災害時の消防活動を期待される中、今後、旧相模原市の消防団との地域性を踏まえた中で、効率よく支援していくことが課題である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		旧相模原市、津久井町及び相模湖町の消防団の統一を図る。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			